

PicoWayで叶えるfacial rejuvenation～3波長を駆使して～. レーザーアカデミー in 千葉, 浦安, 2026.6 (講演)

ピコ秒レーザーの基礎と実践～美容領域でPicoWayを使いこなす～. 第69回日本形成外科学会総会・学術集会, 徳島, 2026.4 (学会 ハンズオンセミナー講師)

波長とフルエンスから組み立てるシミ・くすみの短パルス (ナノ秒・ピコ秒) レーザー治療. 第42回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会, 広島, 2026.4 (学会 シンポジウム講演)

PicoWayの2波長 (730nm/1064nm) を併用した新しいskin rejuvenation. CANDELA Xmas Users Meeting 2025～王道を極め、革新を導く～, 東京, 2025.12 (講演)

PicoWayのフルフェイストリートメント～M SKINメソッド～. CANDELA Xmas Users Meeting 2025～王道を極め、革新を導く～ Hands On, 東京, 2025.12 (講師)

PicoWayの2波長 (730nm/1064nm) を併用した新しいskin rejuvenation. エキスパートから学ぶスキルアップセミナー in 名古屋, 名古屋, 2025.9 (講演)

ピコ秒レーザーのシミ治療～波長とフルエンスの観点から～. 第48回日本美容外科学会総会・第154回学術集会, 東京, 2025.9 (学会 シンポジウム講演)

ピコ秒レーザーのシミ治療～波長とフルエンスの観点から～. 第 68 回日本形成外科学会総会・学術集会, 東京, 2025.4 (学会 シンポジウム・教育セミナー講演)

PicoWayの2波長 (730nm/1064nm) を併用した新しいskin rejuvenation. 第 68 回日本形成外科学会総会・学術集会, 東京, 2025.4 (学会 ランチョンセミナー講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイスリフトメント～私がPicoWayを選んだ理由～. Syneron Candela Pico Academy in Saitama, 大宮, 2025.3 (講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイスリフトメント～私がPicoWayを選んだ理由～. シネロンキャンデラアカデミー in 大阪, 大阪, 2025.2 (講演)

PicoWayの2波長 (730nm/1064nm) を併用したnon fractional laserによるskin rejuvenation. 第 42 回日本美容皮膚科学会, 名古屋, 2024.8 (学会 ランチョンセミナー講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるskin rejuvenation. 癬痕・ケロイド治療ジャーナル. No18 15-17, 2024.7 (論文)

低フルエンス照射による色素性疾患の治療：ナノ秒アレキサンドライトレーザー. 日本レーザー医学会誌. 45 巻 2 号181-187, 2024.5 (論文)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイスリフトメント～私がPicoWayを選んだ理由～. シネロンキャンデラ京都セミナー, 京都, 2024.5 (講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイスリフトメント～私がPicoWayを選んだ理由～. シネロンキャンデラレーザーアカデミー, 銀座, 2024.3 (講演)

とことん, レーザー治療ーシミ・くすみを診るー 730nm/1064nmピコ秒レーザー治療. 美容皮膚医学BEAUTY 53号 Vol.7 No.1 65-71, 2024.1 (医学雑誌)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイスリフトメント～私がPicoWayを選んだ理由～. シネロンキャンデラオンラインセミナー, 2023.11 (講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるskin rejuvenation. 第41回日本臨床皮膚外科学会, 第18回瘢痕・ケロイド治療研究会, 宮古島, 2023.5 (学会 ランチョンセミナー講演)

肝斑に対する (ナノ秒発振) Qスイッチアレキサンドライトレーザー治療の臨床. PEPARS No.175 30-37, 2021.7 (医学雑誌)

Problems with Laser Treatment of Melasma and How to Approach Them. The 6th Asian Congress of Dermatologic Surgery, Kagoshima, 2021.5 (学会 シンポジウム講演)

にきび治療とスキンケア. ラロッシュポゼWEBセミナー,
2020.9 (講演)

低フルエンス照射による色素性疾患の治療: Qスイッチアレキサンドライトレーザー. 第40回日本レーザー医学会総会,
静岡, 2019.10 (学会 シンポジウム講演)

ケミカルピーリング 私の工夫 肝斑・シミ. 美容皮膚医学
BEAUTY 6号 Vol.2 No.5 54-59, 2019.5 (医学雑誌)

肝斑に対する低フルエンス照射: 755nmナノ秒レーザー. 日
本レーザー医学会誌 39 巻 2 号126-130, 2018.8 (論文)

Qスイッチアレキサンドライトレーザーによる色素性疾患の
治療. シネロンキャンデラレーザーアカデミー, 福岡,
2018.6 (講演)

Qスイッチアレキサンドライトレーザーによる色素性疾患の
治療 ~青あざ、シミ、脂漏性角化症からデフォーカス照射
によるリジュビネーションまで~. シネロンキャンデラレー
ザーアカデミー, 東京, 2017.10 (講演)

Qスイッチアレキサンドライトレーザーによる色素性疾患の治
療. 何でも聞ける臨床セミナー, 札幌, 2017.7 (講演)

Qスイッチアレキサンドライトレーザーによる色素性疾患の
治療 ~青あざ、シミ、脂漏性角化症からデフォーカス照射
によるリジュビネーションまで~. シネロンキャンデラレー
ザーアカデミー, 千葉, 2017.3 (講演)

短波長を含むIPLによる光老化皮膚に対する治療効果の検討.
第 56 回日本形成外科学会総会, 東京, 2013. 4 (学会発表)
母斑・血管腫のレーザー治療. 第 1 回形成外科城東フォーラム,
東京, 2012. 6 (研究会発表)

フラクショナルレーザー (Lux1540・XDハンドピース) の治療効果の検討. 第 55 回日本形成外科学会総会, 東京,
2012. 4 (学会発表)

フラクショナルレーザー (Lux1540・XDハンドピース) の癬痕に対する治療効果の検討. 第 30 回日本臨床皮膚外科学会,
ハノイ, 2012. 2 (学会発表)

莓状血管腫に対する早期レーザー治療の効果と合併症の検討
ー短パルス幅色素レーザーと皮膚冷却装置付き長パルス幅色素レーザーの比較検討ー. 東京女子医科大学雑誌 第 81 巻
41ー45, 2011. 8 (論文)

フラクショナルレーザー (Lux1540™) のXDハンドピースと従来型ハンドピースの比較検討. 第 54 回日本形成外科学会総会,
徳島, 2011. 4 (学会発表)

莓状血管腫のレーザー治療ー従来型色素レーザーと皮膚冷却装置付き長パルス幅色素レーザーの比較検討ー. 第 53 回
日本形成外科学会総会, 石川, 2010. 4 (学会発表)

フラクショナルレーザーによるリサーフェイシングの治療経験. 第 33 回日本美容皮膚科学会, 新潟, 2009.8 (学会発表)

フラクショナルレーザーによるリサーフェイシングの治療経験. 第 29 回日本レーザー医学会, 東京, 2008.10 (学会発表)

atrophic dermatofibroma の 1 例. 日本皮膚科学会東京支部会, 東京, 2005.7 (学会発表)

外陰部に単発した若年性黄色肉芽腫の 1 例. 日本皮膚科学会東京支部会, 東京, 2005.1 (学会発表)

人工真皮と凍結保存同種培養真皮線維芽細胞の併用－第 2 報 術後植皮片質感の客観的評価－. 日本形成外科学会誌 第 19 巻 172－175, 1999.3 (論文)

MRSA化膿性肘関節炎を併発した小児熱傷の 1 例. 第 7 回日本熱傷学会関東地方会, 東京, 1999.2 (学会発表)

移植後皮弁の色調に関する検討. 第 16 回日本頭蓋顎顔面外科学会, 北海道, 1998.11 (学会発表)

人工真皮移植症例の知覚に関する検討. 第 311 回東京女子医科大学学会, 東京, 1998.7 (学会発表)

人工真皮と凍結保存同種培養真皮線維芽細胞の併用－第 2 報
術後植皮片質感の客観的評価．第 42 回日本形成外科学会総
会，京都，1998.4（学会発表）

人工真皮移植症例の知覚に関する検討（第 1 報）．日本形成
外科学会誌 第 17 卷 623－629，1997.10（論文）

人工真皮移植症例の知覚に関する検討（第 1 報）．第 40 回日
本形成外科学会総会，宮崎，1997.4（学会発表）